



ユアサ商事株式会社



2023年3月期第2四半期 決算説明会

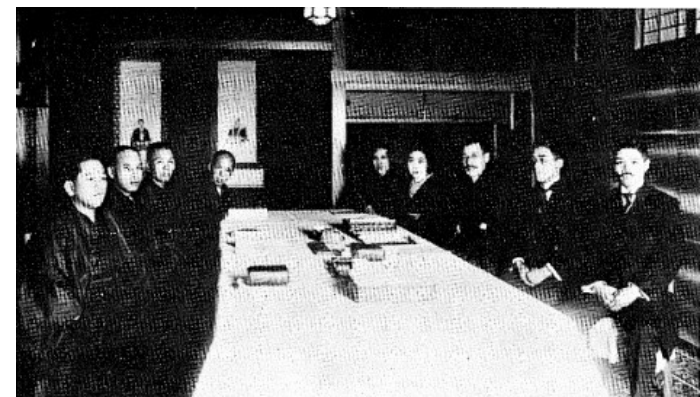
2022年11月16日
代表取締役社長 田村 博之

当社の歴史

西暦・年号	沿革
1666年（寛文6年）	初代湯浅庄九郎が京都にて木炭商を創業
1671年（寛文11年）	木炭商を廃業し打ち刃物問屋に転業
1674年（延宝2年）	江戸に店を開く
1816年（文化13年）	大阪に店を開く
1910年（明治43年）	中国（武漢）に進出
1915年（大正4年）	湯浅蓄電池製造所（旧湯浅電池の前身。 2004年にGSユアサへ統合）を開設
1919年（大正8年）	株式会社湯浅七左衛門商店開設（本店 京都）
1940年（昭和15年）	社名を「湯浅金物株式会社」に変更
1992年（平成4年）	旧湯浅商事株式会社とユアサ産業株式会社が合併、 新社名「ユアサ商事株式会社」
2016年（平成28年）	創業350周年を迎える
2019年（令和元年）	設立100周年を迎える
2021年（令和3年）	サステナビリティ宣言を発表



江戸日本橋通油町
（現在の日本橋大伝馬町・旧本社所在地）
にあった炭屋（ユアサ商事の屋号）



会社設立記念総会の様子（1919年）

当社のビジネスモデル



- 1 2023年3月期第2四半期 決算概要**
- 2 2023年3月期 業績予想**
- 3 中期経営計画「Growing Together 2023」の進捗**
- 4 サステナビリティ推進について**
- 5 株主還元方針**

1

2023年3月期第2四半期 決算概要

前年比で増収増益

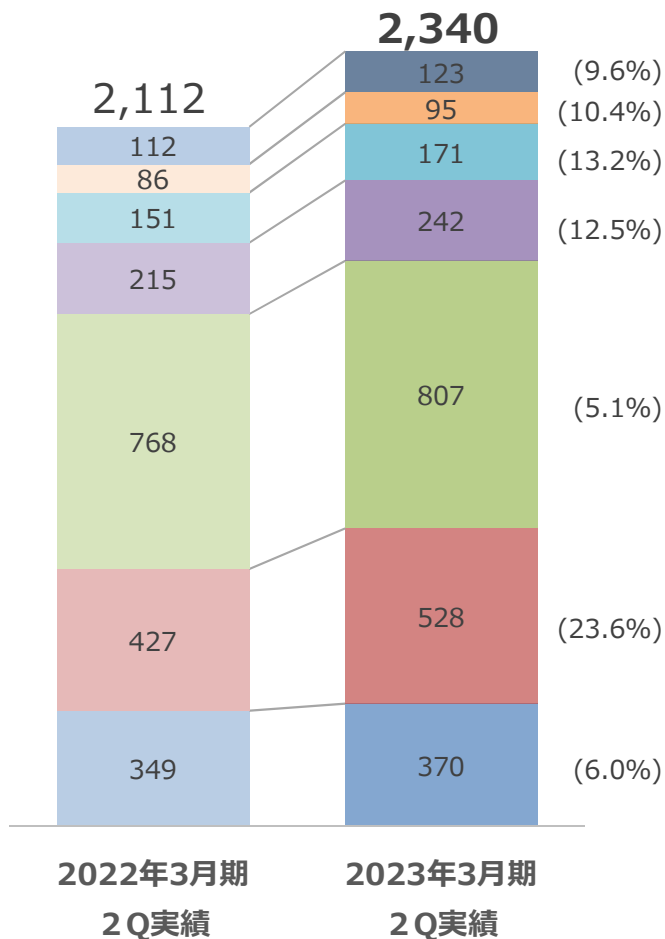
単位：億円（未満切り捨て）

	実績			計画	
	2022年 3月期 (第2四半期)	2023年 3月期 (第2四半期)	前年比	2023年 3月期 (第2四半期)	計画比
売上高	2,112	2,340	+10.8%	2,300	+1.7%
売上総利益 (率)	220 (10.44%)	242 (10.37%)	+10.0% (-0.07P)		
販売費及び 一般管理費	175	191	+8.7%		
営業利益 (率)	44 (2.11%)	51 (2.19%)	+15.1% (+0.08P)	56 (2.43%)	-8.3% (-0.32P)
経常利益 (率)	37 (1.78%)	56 (2.43%)	+51.5% (+0.65P)	61 (2.65%)	-6.8% (-0.31P)
親会社株主に帰 属する 当期純利益	26	36	+36.3%	40	-8.4%

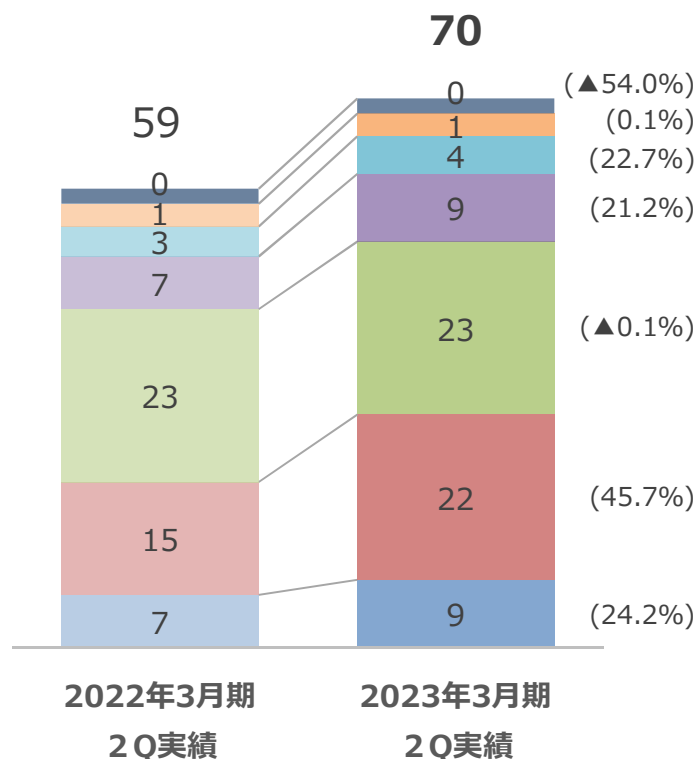
※売上高は収益認識基準適用後の数値です。
※売上総利益率、営業利益率、経常利益率は、収益認識基準適用後の売上高で算出しております。

セグメント別 売上高・営業利益

セグメント別 売上高



セグメント別 営業利益 単位：億円 (未満切り捨て)



主な増減要因

産業機器

半導体産業で工場稼働率が堅調
自動車産業の減産、部材の長納期化が影響

工業機械

国内：半導体産業好調、補助金政策で需要増
海外：米国・東南アジア経済活動本格で需要増

住設・管材・空調

リフォーム需要向け住宅設備機器が堅調
換気・空調関連機器の販売が堅調
蓄電池等の再生可能エネルギー関連商材の需要増

建築・エクステリア

エクステリア商材、建築金物商材が堅調
公共投資は自然災害対策を中心に底堅く推移
レジリエンス商材の拡販に注力

建設機械

レンタル会社の建設機械需要や土木系商材需要が堅調

エネルギー

原油価格の高騰により、ガソリン・軽油などの石油製品価格に影響

その他

消費財：原材料費の高騰、円安が影響
木材：調達チャネル拡充、国産材の販売に注力

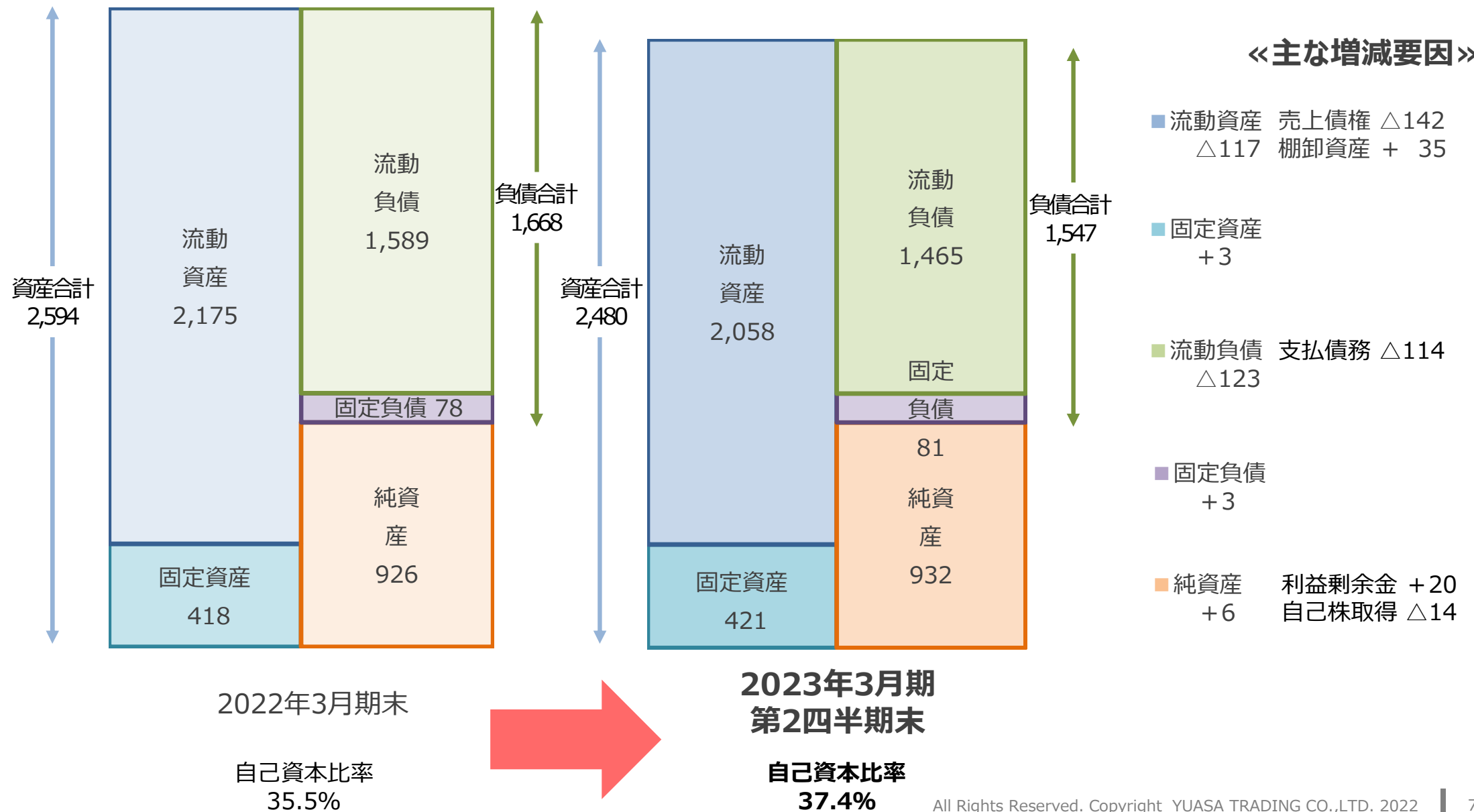
■ 産業機器 ■ 工業機械 ■ 住設・管材・空調 ■ 建築・エクステリア
■ 建設機械 ■ エネルギー ■ その他

※収益認識基準適用後 () 内は増分率

連結貸借対照表

債権債務減少、自己資本比率増加

単位：億円
(未満切り捨て)



自己株式取得等によりキャッシュフロー△17億円

単位：億円（未満切り捨て）

項目	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	主要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	30	16	税金等調整前当期純利益：+56 売上債権の減少による収入：+145 仕入債務の減少による支出：△117 法人税の支払：△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	7	△3	有形固定資産の取得による支出：△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23	△33	自己株式の取得による支出：△16 配当金の支払額：△16
現金及び現金同等物の増減額	14	△17	
現金及び現金同等物の期首残高	419	535	
現金及び現金同等物の期末残高	433	518	

2

2023年3月期 業績予想

通期の業績予想は変更なし

単位：億円（未満切り捨て）

2023年3月期	前半			後半			通期		
	前期実績	今期実績	増減率	前期実績	予想	増減率	前期実績	予想	増減率
売上高	2,112	2,340	+10.8%	2,515	2,559	+1.7%	4,627	4,900	+5.9%
営業利益 (率)	44 (2.03%)	51 (2.11%)	+15.1% (+0.08P)	74 (2.95%)	83 (3.26%)	+12.7% (+0.31P)	118 (2.5%)	135 (2.8%)	+13.6% (+0.3P)
経常利益 (率)	37 (1.71%)	56 (2.34%)	+51.5% (+0.63P)	79 (3.17%)	88 (3.44%)	+10.2% (+0.27P)	117 (2.4%)	145 (3.0%)	+23.5% (+0.6P)
親会社株主に帰属する 当期純利益	26	36	+36.2%	53	58	+8.6%	80	95	+18.7%

※売上高は収益認識基準適用後の数値です。
※営業利益率、経常利益率は、収益認識基準適用後の売上高で算出しております。

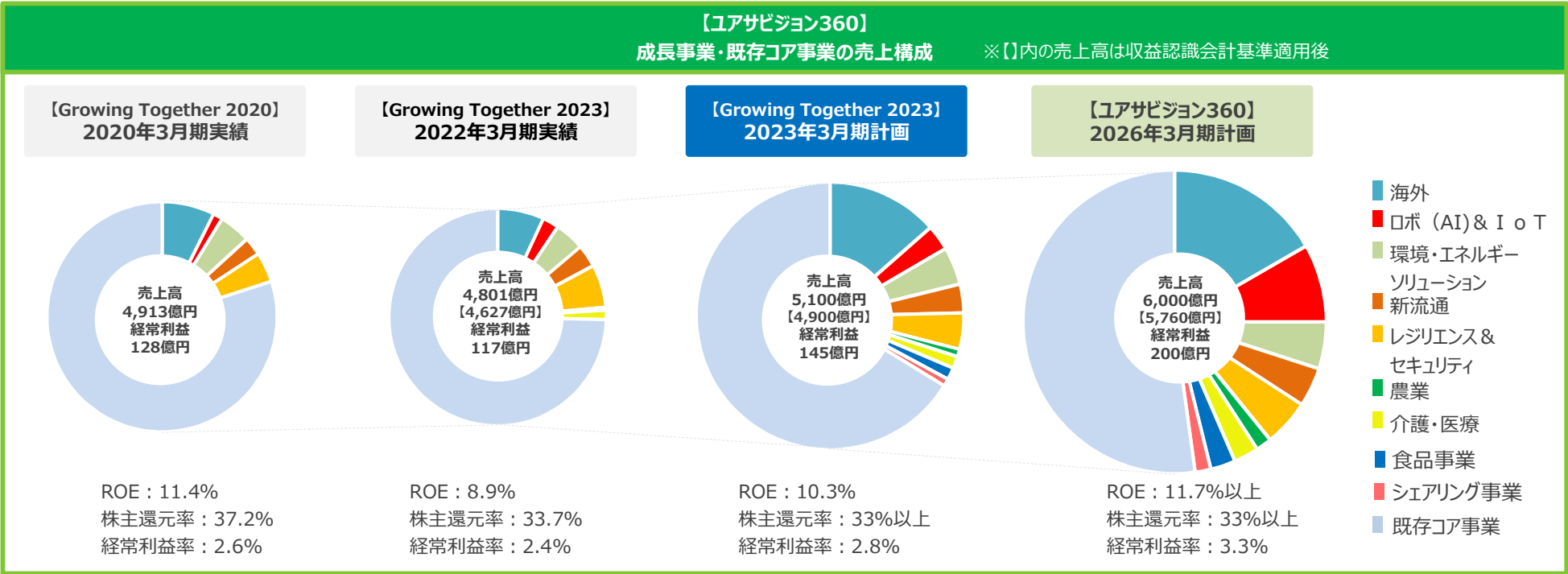
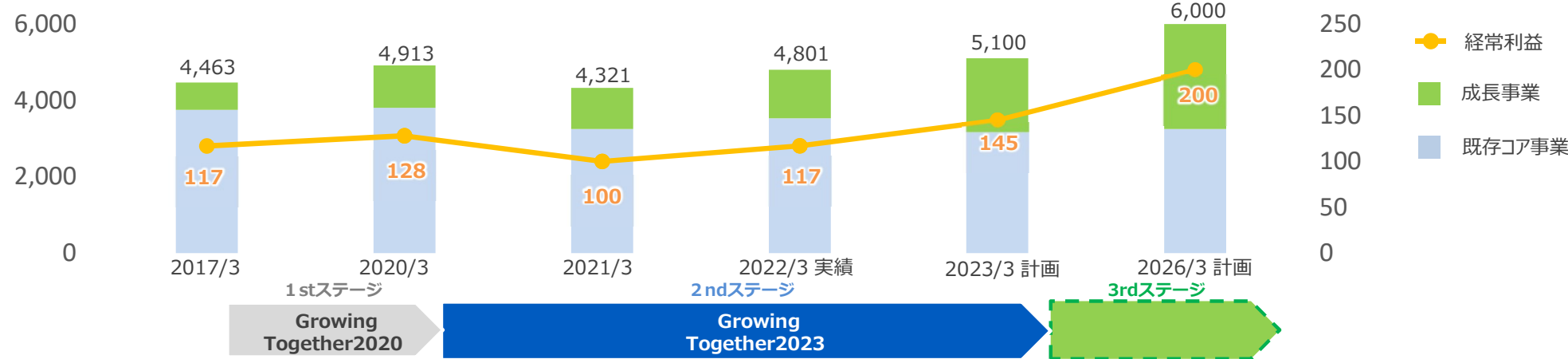
中期経営計画

3

「Growing Together 2023」の進捗

業界トップレベルの収益構造を持つ『つなぐ 複合専門商社グループ』への成長を目指します。

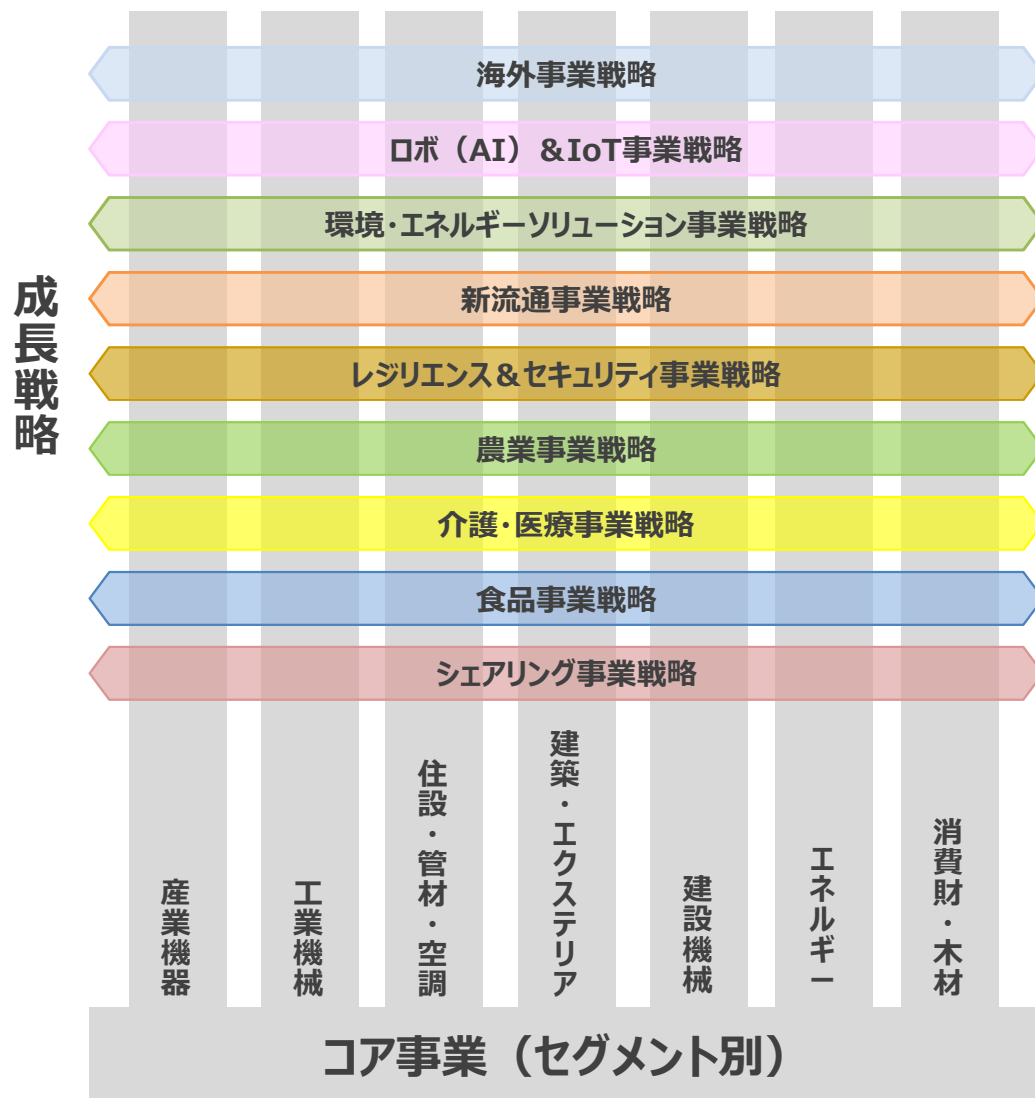
■ 売上高・経常利益推移（単位：億円） ※売上高は収益認識基準適用前



コア事業と成長戦略の位置づけ

成長戦略は全セグメントの成長を促すドライバー

コア事業と成長戦略の位置づけ



成長戦略別売上高（取扱高）

単位：億円
(未満切り捨て)

成長戦略	2023年 3月期 目標	2023年 3月期 第2四半期 実績
海外事業	740	144
ロボ（AI）&IoT事業	170	50
環境・エネルギーソリューション事業	280	152
新流通事業	190	89
レジリエンス&セキュリティ事業	330	117
農業事業	50	11
介護・医療事業	80	31
食品事業	80	10
シェアリング事業	50	8
合計	1,970	612

ロボ（AI）&IoT事業

多くのプロジェクトを通して工場の省人化、効率化、環境改善ソリューションのご提案や海外での自動化ライン提案を推進しています。

Growing Together2023 進捗

■取扱高

116億円 → 170億円
2022年3月期実績 2023年3月期計画

50億円
2023年3月期
第2四半期実績

■TOPICS

➤ 飲料異物検査装置「FaiND OUT2」

- AIの活用で異物と泡の判別を実現し、誤判定が多かった異物検査装置の精度向上が実現
- 過酷な目視検査を自動化により飲料製造工程の省人化・省力化に貢献

➤ 加工環境ソリューション

- モノづくりの加工工程における生産性向上を実現
- 当社オリジナル商品のマイクロファインバブル「バブパワー」を始め、高性能ろ過、センシング技術による効果の見える化、AIによる解析・分析までをトータルでコーディネートし開発

➤ AI導入全てのステップをワンストップでご支援

- connectome.design(株)との業務資本提携により、ユアサ商事グループの長年の現場ノウハウとAI技術力、複合専門商社としてのネットワークを活かしたコーディネート力でお客様の課題を解決



飲料異物検査装置
「FaiND OUT2」

マイクロファインバブル バブパワー



【今後の取り組み】

- AI・IoTソリューション開発プロジェクトの推進、並びにAI・人工知能 EXPOなどの展示会を活用し幅広くご提案
- 当社オリジナル Robo Comboの販売推進

海外事業

国内で培った商品力やソリューションを海外に展開し、新たな価値を提供します。

Growing Together2023 進捗

■取扱高

294億円 → 740億円
2022年3月期実績 2023年3月期計画

144億円
2023年3月期
第2四半期実績

■TOPICS

- 北 米 : 米国最大の製造技術の見本市であるIMTS2022に出展
- 東アジア : 自動車向け部品加工商談への対応
- 南アジア : タイにおける太陽光発電システムの設計・施工・販売の推進
自動車・自動二輪車向け部品加工商談への対応



IMTS出展時の様子

【今後の取り組み】

タイププロジェクトとしてミニユアサを設立し
2025年タイにてグランドフェアを開催予定

環境・エネルギーソリューション事業

ワンストップソリューションで、お取引先様のカーボンニュートラル支援を行います。

Growing Together2023 進捗

■取扱高

250億円 → 280億円
2022年3月期実績 2023年3月期計画

152億円
2023年3月期
第2四半期実績

■TOPICS

- 太陽光 : 取扱高 105億円（太陽光パネル、周辺機器、蓄電池）
- 省エネ : YES-netを活用したCO2排出量の見える化から設備更新・再エネ導入までワンストップソリューションでお取引先様のカーボンニュートラルを推進
- 新商材 : 電気自動車の普及で注目されているV2H（Vehicle to Home）システムを組み合わせたソリューションをご提案



当社オリジナル
『V2H機能搭載宅配ボックス付き門柱』
設置イメージ

【今後の取り組み】

- CO2の現状把握のご支援（YES-net）
- 蓄電池やEV用急速充電器の提案に注力

つなぐソリューション事例（１）

ロボ（AI）&IoT事業

- 資材数量カウントシステム A I AIで仮設資材の損傷度合いや数量を自動検知
- Robo Combo あらゆる製造現場 + 自動化。
お手頃な価格で自動化を実現するロボットシステム
- 加工環境ソリューション  加工液・洗浄液の長寿命化、加工条件や効率の向上、
設備や工具の最適化 を実現するシステム
- 飲料異物検査装置「FaiND OUT2」 AI搭載したロボットで飲料の異物混入を防止

マイクロファインバブル バブパワー



『V2H機能搭載宅配ボックス付き門柱』設置イメージ



環境・エネルギーソリューション事業

- V2H機能搭載 宅配ボックス付き門柱 E Vへの充電だけでなく、余った電力を家庭でも消費することができる機能を有する宅配ボックス付門柱

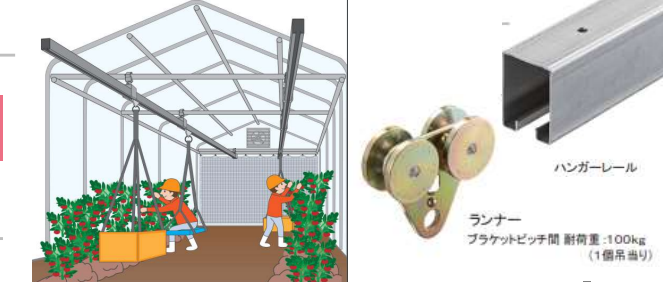
レジリエンス&セキュリティ事業

- 冠水検知・警告システム キヅキミライシグナル  内水反乱や河川増水に対する冠水警告による浸水被害の未然防止
- つなぐBCPパッケージ キヅキミライ ボラード（冠水センサー付きボラード）+ 発電機 + ポンプ
- 八千堀  販売先様、仕入先様、当社 3社で開発。
危険なコンクリート堀を安全・安心なアルミフェンス

アルミ目隠しフェンス【八千堀®】



ハンガーレールを活用した収穫作業運搬システム



農業事業

- 収穫作業運搬システム ハンガーレールと吊り車でブランコに座りながら収穫作業が可能

つなぐソリューション事例（２）

介護・医療事業

- 感染低減ハウス
コンテナハウスの製造ノウハウと、排気装置やフィルターメーカー様の技術を組み合わせた医療用感染低減ハウス
- 遠隔ICUプレハブ病棟設置事業
当社グループにて、病棟設計とプレハブハウスを製作し、空調などの機器類を組付け、トータル提案

食品事業

- リライタブル レーザーシステム
レーザー印字装置+Sier にて、通函用オリジナル印字装置を開発
- 惣菜ピッキングロボット
六軸ロボット+AI で、バラ積みの不定形な惣菜をピッキング
- あっぺん機
国内で調達可能な原料による飼料の配合が可能

シェアリング事業

- 農機シェアリング
農機と運転手のシェアリングプラットフォーム
- かりるねっと
電子決済でレンタル可能となるECレンタルサービス

その他

- ITENE
マンション管理会社とシステムベンダー様をつなぎ開発
集合住宅における予約管理システムをご提供
- Yuasa LDX team プロジェクト
6社と共同し、プロジェクトチーム設立、物流現場の効率化を推進
- コンクリート締固め管理システム
銭高組・インフォマティクスとの共同開発。MR(Mixed Reality)により
コンクリートの締固め位置と締固め程度を色と数値で「見える化」

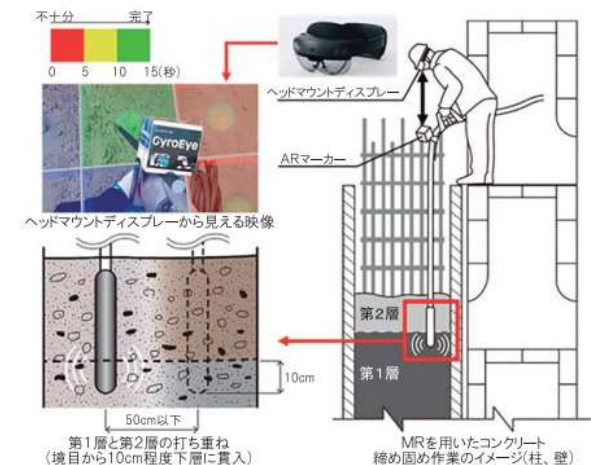
あっぺん機



かりるねっと

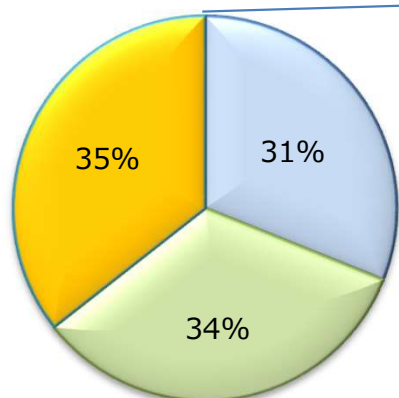


コンクリート締固め管理システム

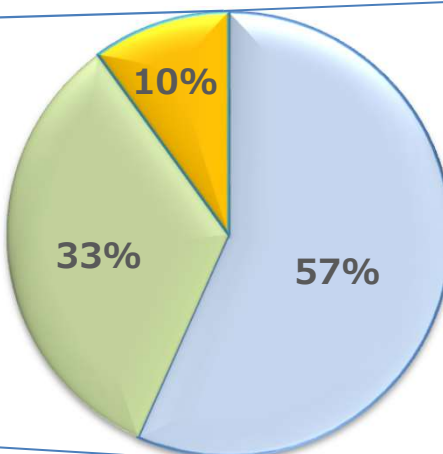


財務の健全性を維持しつつ、事業活動を通じて創出した利益を成長分野へ投資することにより、
1株当たり当期純利益を増大させ、株主価値の向上を図ります。

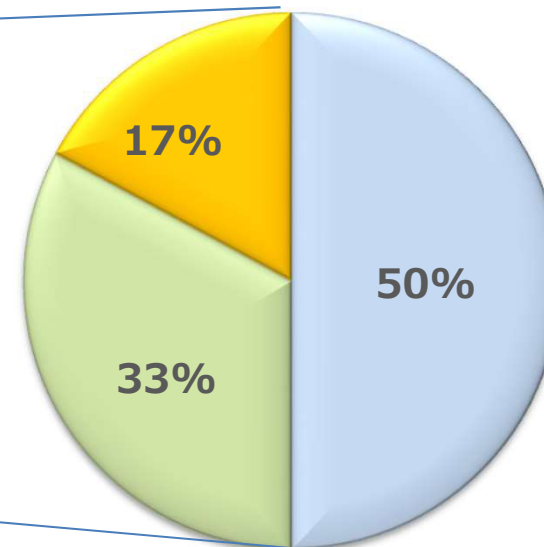
【Growing Together 2020】
2018年3月期～2020年3月期（3年間）の
当期純利益累計(264億円)の配分実績



【Growing Together 2023の目標】
2021年3月期～2023年3月期（3年間）の
当期純利益累計(300億円)の配分計画



【Growing Together 2023-2026】
2021年3月期～2026年3月期（6年間）の
当期純利益累計(700億円)の配分計画



投資枠
82億円

- ・M&A関連
- ・システム等資本的支出
- ・人材育成・新規事業開発

株主還元
(配当額)
88億円

18/3期配当額：24億円
19/3期配当額：31億円
20/3期配当額：33億円

将来への
投資原資
94億円

1株当たり純資産
17/3期実績：2,910円
⇒20/3期実績：3,635円

投資枠
170億円

- ・M & A、事業承継
- ・新事業
- ・ITデジタル投資

株主還元率
33%以上

自己株式の取得を含め、DOE
(株主資本配当率)の向上に
努めてまいります。

将来への
投資原資

将来の事業環境の変化に
迅速・柔軟に対応するための
投資原資とします。

6年間の累計
投資枠
350億円

株主還元率
33%以上

内訳

- ・M & A、新事業
230億円
- ・ITデジタル投資
120億円

自己株式の取得を含め、
DOE (株主資本配当率)の
向上に努めてまいります。

成長に向けた投資枠

成長戦略	投資枠 (3年間)	投資実績 (2.5年間)	残投資枠 (0.5年間)	投資内容（予定を含む）
海外事業	40億円	—	40億円	タイの拠点強化、タイグランドフェア開催、M&A 等
ロボ（AI）&IoT事業	40億円	19 億円	21億円	AIベンチャーとの業務資本提携 建設現場向けロボット 等
環境・エネルギーソリューション事業	トータル 50億円 ※コア事業 投資枠含む	37億円	13億円	PPA（電力販売契約）スキームの開発 等
新流通事業				ECサイトGrowing Navi 機能開発 等
レジリエンス&セキュリティ事業				つなぐBCPパッケージ、キヅキミライボラード 等
農業事業				農業ロボット会社への出資、あっぺん機開発 等
介護・医療事業				遠隔ICUプレハブ病棟設置事業 等
食品事業				飲料異物検査装置の開発 等
シェアリング事業				ネットレンタル事業プラットフォーム開発 等
コア事業				機能強化のための物流倉庫の移転 等
ITデジタル投資	40億円	8億円	32億円	DXプロジェクト推進、GFのデジタル化 等
合計	170億円	64億円	106億円	

単位：億円（未満切り捨て）

財務KPI	2021年3月期実績	2022年3月期実績	2023年3月期計画
売上高	4,321	4,627	4,900
営業利益	89	118	135
経常利益	100	117	145
経常利益率※	2.32%	2.54%	2.95%
当期純利益	69	80	95
ROE	8.1%	8.9%	10.3%
株主還元率	31.9%	33.7%	32.3%

売上高は収益認識基準適用後の数値です。

2022年3月期及び2023年3月期の営業利益率は、収益認識基準適用後の売上高で算出しております。

非財務KPI	2021年3月期実績	2022年3月期実績	2023年3月期計画
女性総合職比率	3.8%	4.1%	5.0%
女性総合職採用比率	10.4%	10.4%	12.0%
有給取得率	52.1%	56.2%	60%
平均労働時間	2013時間	1977時間	1,900時間

4 サステナビリティ推進について

サステナビリティ推進に向けた取り組み

ビジネスにおける取り組み

ワンストップソリューションで、お取引先様のカーボンニュートラル支援を行います。

●CO2の現状把握をご支援します。(YES-net)



エネルギー管理システムYES-netを活用して、カーボンニュートラルへの最初のステップであるCO2を見える化

簡単入力で、全社のCO2排出量を表・グラフで一覧表示

●成長戦略：環境・エネルギーソリューション事業の推進

■取扱高 250億円 → 280億円
2022年3月期実績 2023年3月期計画

●二国間クレジット制度（JCM）を活用し、途上国のCO2削減をご支援します。



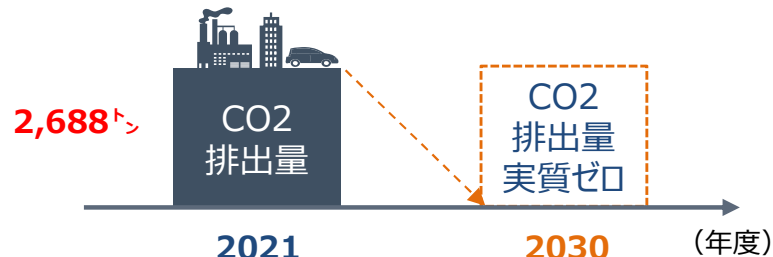
ベトナム ホーチミン市でのワークショップの様子

ベトナム（ホーチミン市）では、都市間連携事業に参加し、JCM設備補助事業の案件組成で貢献いたします。

ご提案・申請・施工・管理まで
当社がワンストップで
サポートいたします。

当社グループ内での取り組み

2030年度までに当社グループ全体のカーボンニュートラルを目指します。



●全グループ拠点でのCO2排出量の見える化を実施済



●全グループ拠点で使用設備の把握を実施中

記入日		2022年 6月 1	
設備に関するアンケート			
拠点名		(ユアサ商事)中部支社	
1.事業所の概要			
ご担当部署 (会社名)	ユアサ商事中部支社	氏名	田中 博
電話番号	052-779-8110	Fax	
Eメール	tsunashim@yasa.co.jp		
2.設備の状況			
事業開始	～	建物	地上 3階 地下 階
営業日	曜日～(日・夜・ホ・ホ・ホ・ホ・ホ・日)		
設備稼働期間	(冷房(月～月) 暖房(月～月))		
設備の所有者	期間	ユアサ商事	設備
空調設備	エアコン一基	○ 電気	○ 都市ガス
	その他()	○ 重油	○ LPG
			○ 灯油
合計	台数	台数	台数
	台数	台数	台数

アンケートの内容をもとに、まずは省エネをすすめるため、省エネ効果がある設備に対して、更新設備の選定等をすすめてまいります。

全拠点で実施した
設備に関するアンケート

デジタルトランスフォーメーション（DX）推進について

DX推進により「コト売り」のデジタル商社を目指します

今期よりスタートした取り組みのうち、ロジスティクス分野とプロモーション分野の一例をご紹介します。

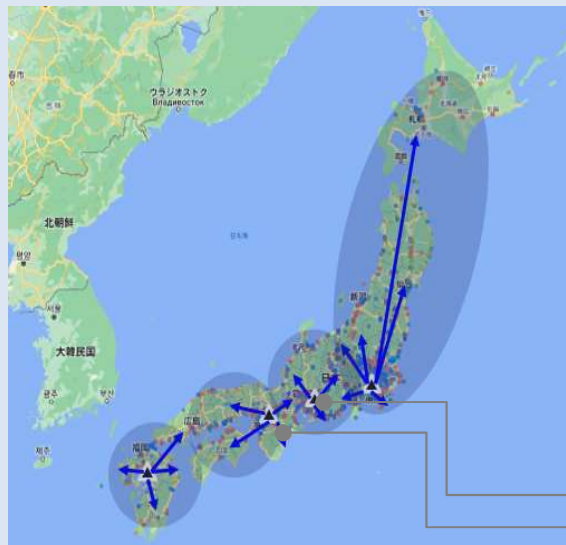
● データを起点にしたロジスティクス機能の強化

お客様の定番品をタイムリーにお届け

- ・ 全国4か所の主要物流センターから出荷される商品情報をクラウドに集約
- ・ 地域ごとの商品需要を分析し、お客様により近い倉庫へ商品配置

ご注文いただく商品をタイムリーにお届けできる配送網構築に取り組んでいます。

配送データ分析結果より商品配置を最適化



ITデジタル投資枠

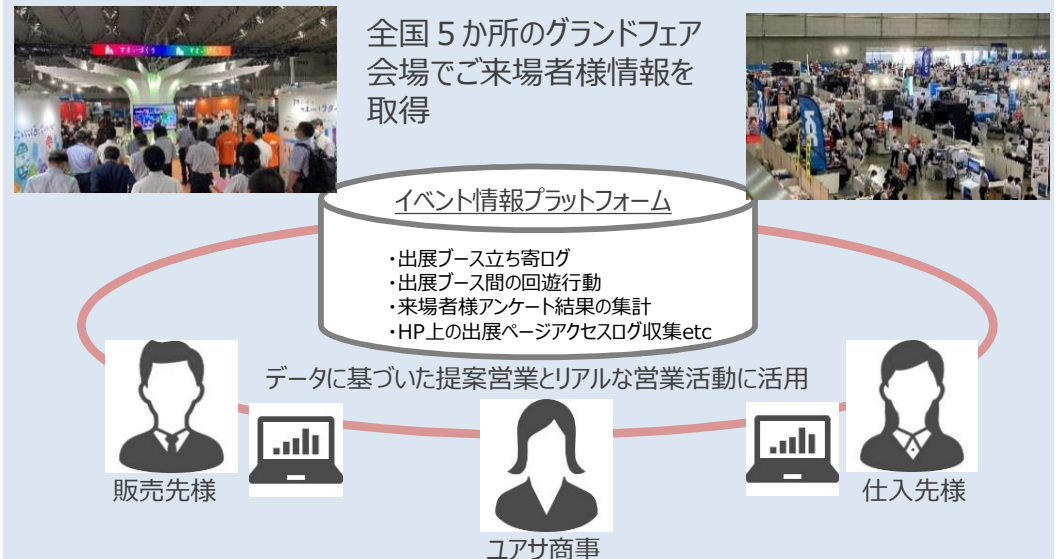
2020年4月～ 2023年3月	+	2023年4月～ 2026年3月	=	2020年4月～ 2026年3月
40億円		80億円		120億円

● グランドフェア（展示会）後のアフターフォロー

イベント情報プラットフォームの構築

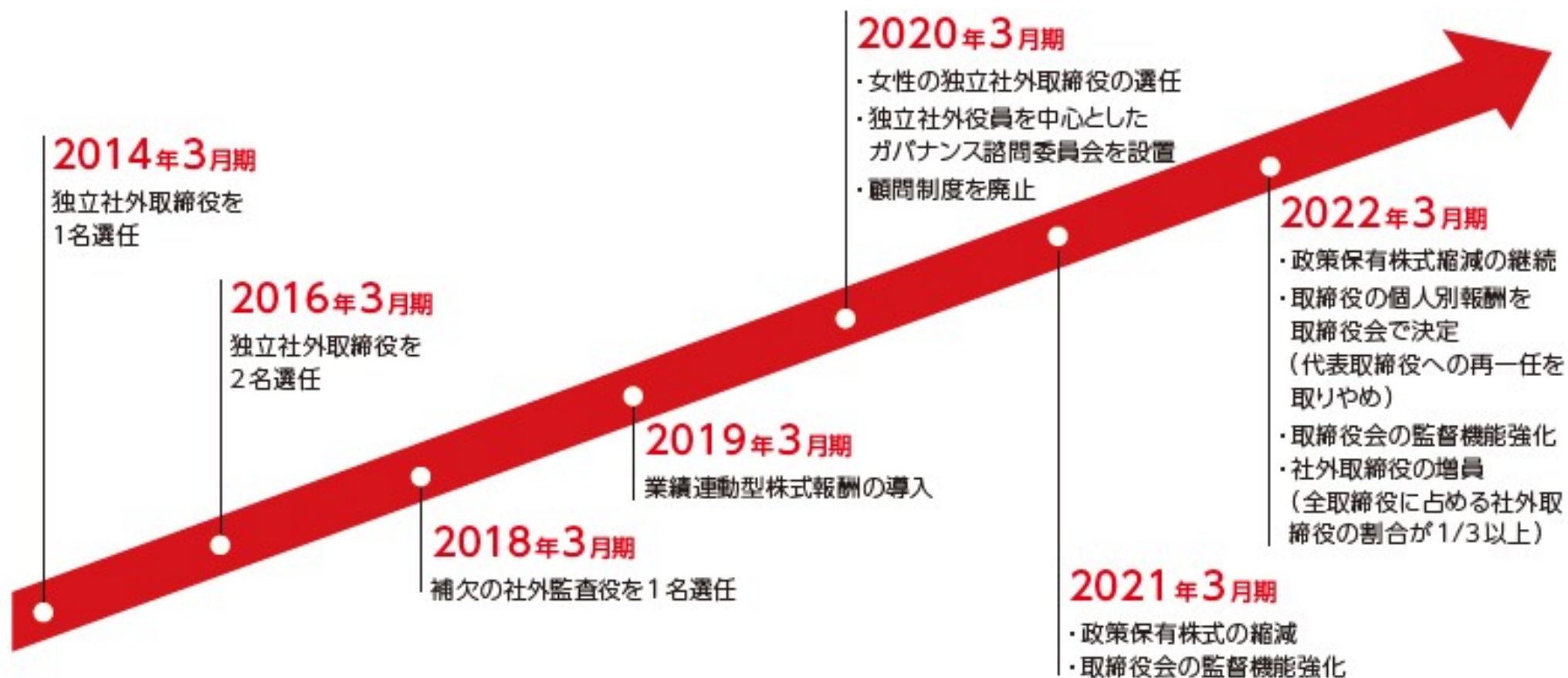
- ・ イベント会場で取得したご来場者様の行動ログを収集、分析し、専用ページで公開
- ・ 「誰が、いつ、何を目的に」ブースを訪れたか、その感想やコメントを入手

お客様の情報を販売先様・仕入先様からなるネットワークで共有し、グランドフェア後の更なるご提案に繋げています。



プライム市場上場会社として、コーポレートガバナンス・コードに沿った対応を強化します

コーポレート・ガバナンス強化の変遷



5

株主還元方針

株主還元方針

連結株主還元率(配当・自己株式取得) 33%以上を目標とする

◆ 配当 (2023年3月期)

中間 : 60円

期末 : 80円 (予想)

合計 : 140円 (予想)

◆ 自己株式の取得

株数 【計画】上限 : 170万株 (発行済株式総数 (自己株式を除く)) に対する割合7.62%)

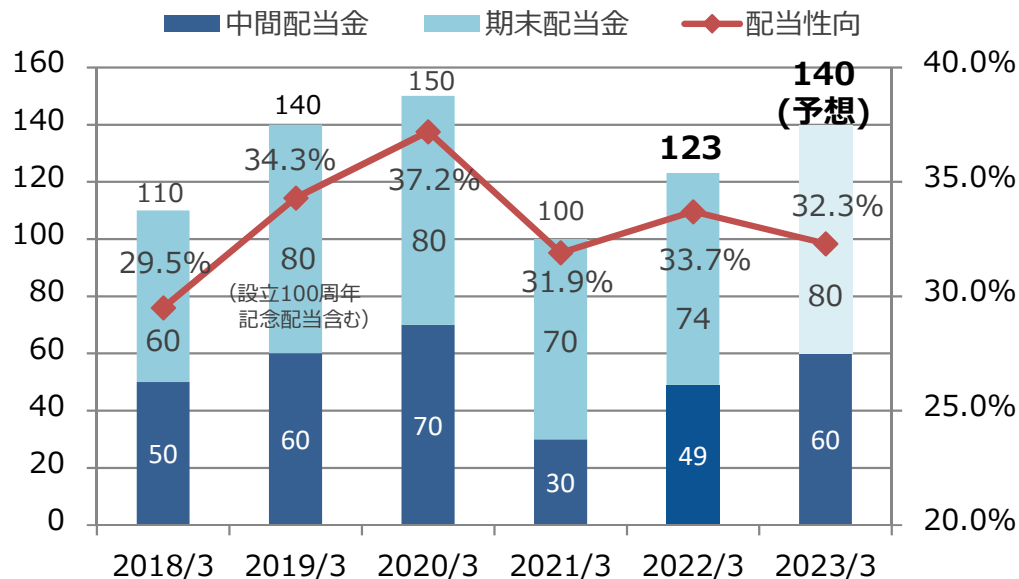
【実績】10月末累計 : 58万株

総額 【計画】上限 : 40億円

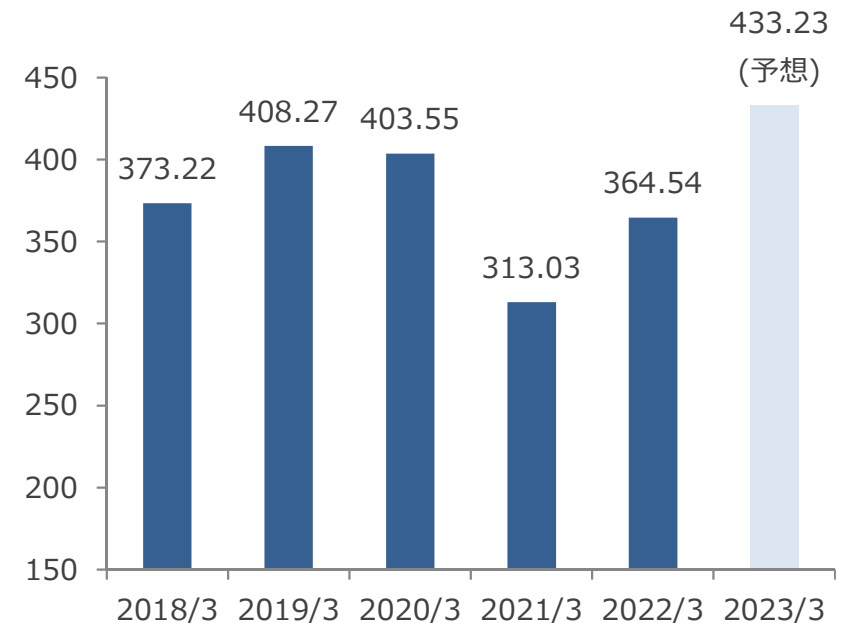
【実績】10月末累計 : 20億円

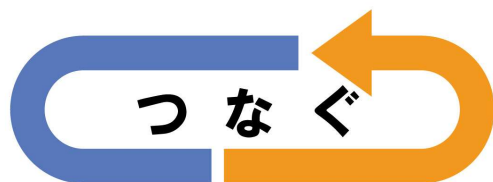
期間 : 2022年5月16日～2023年5月12日

■ 1株当たり配当金と配当性向の推移 (円)



■ 1株当たり当期純利益 (円)





複合専門商社グループ



ユアサ商事株式会社

本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述等は、本資料の発表日現在における入手可能な情報、一定の前提や予期に基づくものです。よって、実際の業績、結果は、経済動向、市場価格の状況、諸制度の変更など様々なリスクや不確定要素により大きく異なる結果となることがありますが、当社は、本資料の情報の利用により生じたいかなる損害に関し、一切責任を負うものではありません。

また、当社は本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述等について、改訂する義務を負うものではありません。